

くらし・福祉をまもり 地域経済を元気に

日本共産党

誰もが安心して働くことができる社会に

やぎした
礼子 県議会議員(4期)
<http://yrblogjcp.blog39.fc2.com>



プロフィール

- 1946年群馬県伊勢崎市生まれ。県立伊勢崎女子高等学校卒業。
- 1970年東北福祉大学社会福祉学部卒業、所沢診療所に医療ソーシャルワーカーとして勤務。
- 1983年所沢市議会議員2期、埼玉県議会議員4期。
- 現在 / 日本共産党中央委員・所沢市委員長
- 家族 / 夫、1男1女。所沢市小手指元町在住

ごあいさつ

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

「とにかく、一番は雇用の問題を何とかして欲しい。私の世代は、就職氷河期で、周囲には正社員になりたくてもなれない友達が沢山いる」―― 私たちのアンケートに寄せられた声です。

私は現場で働く方々といっしょに、残業代未払い問題や雇用をまもる運動をすすめてきました。これからも、誰もが安心して働くことができる社会をつくるために、がんばります。

新しい所沢

2011年1・2月号外

日本共産党所沢市委員会の見解を紹介します

発行 / 日本共産党所沢市委員会 所沢市中新井1-10-1 ☎04-2990-3590

国政へも

県民の声を しっかり届けます



日本共産党

政治の責任で賃上げを主導

- 労働者派遣法を抜本改正して非正規社員を正社員にする
- 中小企業に手当をしながら最低賃金を時給1000円以上に引き上げる
- 雇用の7割を抱える中小企業を本格的に支援して大企業の労働者との賃金格差をなくしていく
- 日本航空のような無法解雇をやめさせて解雇規制のルールを強化する

大企業は空前の「カネあまり」(内部留保は244兆円)。賃上げは十分可能です。

農業も地域も 雇用も破壊する TPP参加には反対

TPP(環太平洋連携協定)は、関税を撤廃し、農産物の輸入完全自由化をすすめるものです。日本農業と地域経済に深刻な打撃となり、農水省の試算でも食糧自給率は現在の40%が14%にまで低下してしまいます。食料主権を守ることはその国の当然の権利です。

草の根の運動と結んで実現

日本共産党

日本共産党は全県の地方議員が力をあわせて、地方政治を大きく動かしてきました。



- 30の自治体で国保証のとりあげを中止させる
- 後期高齢者医療制度の保険料の引き下げを実現
- 障害児の特別支援学校を県が増設
- 周産期母子医療体制を県が整備・充実
- 医師確保へ医学生奨学金制度を県が創設

領土問題

マスコミも 「一番は共産党」

日本共産党は、中国、ロシアに、尖閣諸島、千島列島は日本の正当な領土として、国際的、歴史的な根拠があると主張。マスコミも「尖閣」アピール「一番は共産党」(読売新聞)と注目しています。